

くにさき七島藪表



生産地：大分県国東市、杵築市

登録団体：くにさき七島藪振興会

農林水産大臣登録第22号



特性

亜熱帯性の植物である七島藪を、藪と同じ製織方法で織り上げた畳表。原料、織り方の違いから、い草の畳表よりも強度が有り、自然で素朴な仕上がりとなる。独自の風合いは、関東圏を中心に人気が高い。

地域との結び付き

原料である七島藪は約350年前から栽培を開始。杵築藩など豊後の国の各藩で栽培が奨励され、昭和中頃までは大分県の重要な産業だった。現在は生産者や当地の畳店、七島藪表問屋、行政、県内外からの移住者を含めた地域住民などで「くにさき七島藪振興会」を立ち上げ、担い手の育成や支援を実施し七島藪の文化を守り育てている。